

SxS UDF Driver Ver5.1.0 Mac 版（2024/3/27 リリース）の【動作環境】を更新しました。

【Ver5.1.0 で追加された項目】

・macOS 14.7 Sonoma 対応

[macOS 26.2 Tahoe](#) で動作することを確認しました。

【動作環境】

この SxS UDF Driver Ver. 5.1.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

macOS Sonoma [14.8.3](#) ※

macOS Sequoia [15.7.3](#) ※

macOS Tahoe [26.2](#) ※

※ Intel Mac 製品および、Apple シリコン搭載 Mac 製品に対応しています。

（Apple Silicon 搭載 Mac の場合は、「セキュリティポリシーの設定」を行なう必要がある場合があります。

詳細は、後述する「インストール方法」を参照下さい。）

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意：

この動作環境は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【SxS UDF Driver のインストール方法】

・SxSUDFDriver_5_1_0_mac.zip を解凍して、

SxSUDFDriver_5_1_0_mac.dmg を実行してください。

順次表示されるインストーラーの指示に従って操作すると、SxS UDF Driver がインストールされます。

インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

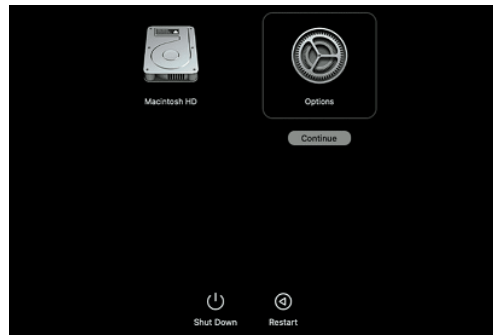
設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

・Security Settings

Apple Silicon 搭載 Mac に Memory Media Utility V5.0.0 以降 もしくは SxS UDF Driver V5.0.0 以降のものをインストールする際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。

Apple シリコンを搭載した Mac に「SxS UDF Driver」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。

1. Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクが FileVault で暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

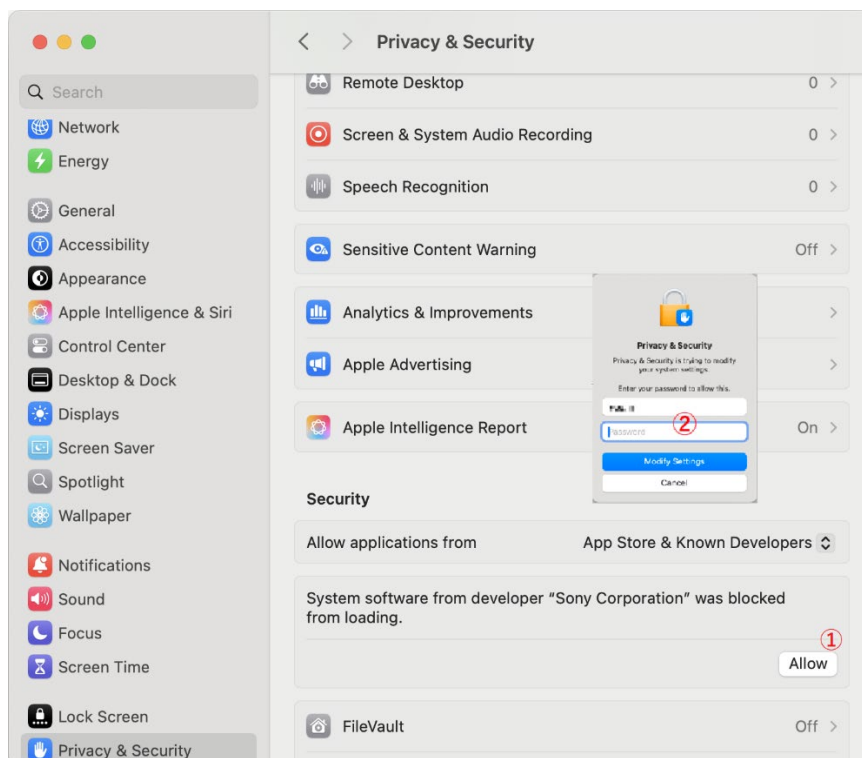
・macOS 26.2 もしくは 15.7 あるいは、14.8 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

下記のように「システム環境設定」の「セキュリティとプライバシー」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合は必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加されている物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

[System Settings] から [Privacy & Security]を開きます。

1. “ブロックされているシステムソフトウェア”の右側にある、許可ボタンを押してください。
2. アドミニストレーターID とパスワードを入力してください。（下図参照）



【使用上のご注意】

- ・ Memory Media Utility および、SxS メモリーカードを SxS Reader/Writer“SBAC-T40” もしくは、ExpressCard スロットに挿入して、本バージョンの SxS UDF Driver と組み合わせて使用する場合

別製品である、Memory Media Utility バージョン 5.3.0 もしくは、SxS Device Driver バージョン 5.2.0 を下記より、インストーラーを入手して下さい。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

- ・ OS の起動条件によっては、本製品ではなく、OS 標準ドライバが適用されてしまう場合があります。

例) UDF フォーマット済 SxS メモリーを挿入した SxS Reader/Writer を PC に接続したまま、OS を起動した場合

OS 標準ドライバが適用されると、Memory Media Utility で SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer が認識できなくなったり、SxS メモリーのデータ転送速度が明らかに遅くなります。

この場合は、一旦、SxS Reader/Writer を PC から外して、OS を再起動してください。

- ・ マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。もしくは、一時的に自動スリープを解除した状態でご使用ください。

Mac Laptop 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定＞バッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・ バッテリーの 低電力モード・・・ Never (なし) に設定する、もしくは、チェックを外す
- ・ Option 内の可能な場合はハードディスクをスリープさせる・・・ Never (なし) に設定 (ディスプレイオフ時間のスライド設定がある場合、可能であれば Never (なし) に設定してください)

Mac Laptop もしくは Mac Desktop (Intel Mac) 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定＞省電力もしくはバッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・ Power Nap を有効にする・・・ 無効にする

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することを推奨します。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

- ・ OS が SxS メモリーをマウントする前に、SxS リーダーライター機器からメディアを取り出したり、アプリケーションで操作を行なったりすると、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ ボリュームラベルの制限について

OS によっては、ボリュームラベルの 1 文字目に半角スペースを入力することが可能ですが、この場合、Finder や Desktop で“Untitled”と表示されることがあります。
